

ベルギーニュース

保育園に乳児置き去り

10/25、Oosterzele（東フランドル州）の保育園で閉園10分前に母親が着いた時、保育園はすでに閉まっていた。母親が責任者に電話をしたが連絡が取れず、数人の保育園職員に連絡し責任者に連絡を取ってもらい、30分後に保育園のドアを開けてもらった。このとき置き去りにされていたカミーユちゃんは、ヒステリックに泣き叫んでいた。22カ所の保育園を管轄するFilip Standaertはこの重要性を重んじ、厳重に注意すると語った。Kind & Gezin（チャイルド・ファミリー協会）も二度と起こらないよう調査を重視すると伝えた。



顔が変わります

フィリップ皇太子が7月に第7代ベルギー国王に即位したことをうけて、10/15、メッヘレンの郵便印刷所で新しい郵便切手の印刷式が行われた。アルベール元国王の写真に代わりValerie Paulがデザインし、Christian Lambiotte撮影のフィリップ現国王の近影が使われ、ベルギー国内用、ヨーロッパ圏内用、その他の地域用の3種類の切手の販売が10/28より開始された。

今年はクラシックに



2012年はモダンなデザインのライトアップクリスマスツリーが飾られたグランプラスだが、今年のクリスマスツリーはまた定番のモミの木が飾られることになった。ベルギー東部Hoge Venen地域の高さ約17mのモミの木が設置される予定。さらに今年はクリスマスマーケットの規模も拡大される予定だという。

世界記録が好きなベルギー人

11/4、アントワープで開催されていた本市で、本を使ったドミノ倒しが行われ、世界記録を達成した。倒された本は4,845冊で、約40人の有志が2時間かけて614mに及ぶドミノを作成し、約6分でこれらが倒された。



運動と体重制限は大切です

11/14の世界糖尿病デーをまえに、糖尿病協会が啓蒙キャンペーンをフランダース地域の5駅で行った。現在フランダース地域では12人に1人の割合で糖尿病のリスク患者がいるとみられているが、一般の意識調査によると回答者のうち8割がそのことを深刻にとらえておらず、患者にも糖尿病の知識が不足しているという。



ちょっと郊外が好き

11/14に発表された年次経済報告によると、2011年度最も平均年収が多かった自治体は、ゲント郊外のSint-Martens-Latemで24,278ユーロ/人だった。同じくゲント郊外のDe Pinteが第2位、Keerbergen、ルーバン郊外のOud-Heverleeがあとに続いた。

モネギャラリーが消える

モネ劇場向かいの建物モネギャラリーは経営がうまく機能せず、街中心の一等地に位置するにもかかわらず、営業していない店舗が存在する。そこで、AG Real Estateと建築会社DDS & Partnersが地上階、1階部分をリノベーションすることになった。店舗の位置を変えるだけでなく、モネ劇場へ行きやすくなったり、地下鉄De Brouckère駅へ直接行けるようになる。工事は2014年早々に始まり、2016年に終了の予定。

汚い地域

Green Cross協会の調査で世界で10カ所の不潔なところがランクアップされた。最悪の場所は、ガーナのAgbogbloshie。先進国からの電気製品が放置され汚されている。2位はインドネシアのCitarum川。3位はナイジェリアのナイジェリアデルタ。幸運にもベルギーは不潔な地域10カ所にはランキングされていなかった。しかし、ベルギーのワロン地方Engisは空気と地層が汚染され、フランダース地方はアントワープとゲントの港の空気が汚く、ブリュッセルはHarenの空気が汚れているという。



また一つ値上がり

11/7、ブリュッセル政府はSTIB/MIVBの運賃値上げを承認した。今回は年間回数券は対象とはならず、STIB/MIVB以外De Line、Tec、SNCFにも乗車できるJumpカードの1回券（€2→€2.10）、5回券（€7.70→€8）、10回券（€13.50→€14）、Mobibカードの1回券（€1.90→€2）、10回券（€12→€12.50）、1カ月の回数券（€47.50→€49）が対象。また、空港行きの12番、21番がなくなり、空港への料金が車内購入券では€6、車外購入券では€4となる。値上りは2014年2月1日からの予定。

記録更新or後退?

2013年、7万2千人のベルギー人が銀行を変更した。これは、毎日200人が銀行を変更したことに相当する。変更の理由は、普通預金、定期預金の高額手数料。特にBNP ParibasとKBCは顧客を減らし、反対にArgentaとDeutsche Bankは顧客を増やしたという。

また日本人の活躍

昨年のレストランINADAの稲田さんに続き、レストランやまとの稲垣さんがゴー・ミオの2014年アジア部門のザ・ベスト・オブ・ザ・イヤールを受賞した。店の開店は火～土の18h30から。カウンター12席プラステーブル1つのスペースで、席確保に並ぶのを覚悟で客は列を作っている。ラーメン、餃子、とんかつなどと共に、ワインはないが、日本のビールと酒を提供している。

* 紙面内表記は、仏語/蘭語の順です。
1語の場合は両言語共通です。

ベルギー在住主婦を中心に編集・発行されています。
無断転載・複製を一切禁じます。

広告・ぷち広告の案内は、ウェブサイトをご覧ください。
記事に関するご意見・ご感想は、メールでお寄せください。

Tel : 02 376 28 21 (神野宅 9~12h)



PETITS-POIS asbl / vzw Rue Zwartebeek 8, 1180 Bruxelles

www.petits-pois.be

e-mail : mail@petits-pois.be

22^e année - mensuel - Ne paraît pas en août

22^e jaargang - maandelijkse uitgave - Verschijnt niet in augustus

Editeur responsable

Verantwoordelijke uitgever

KANNO Yoko